

特定非営利活動法人

視覚障害者センターつえの里



(奇数月発行)

第 1 2 6 号

令和 7 年



目次

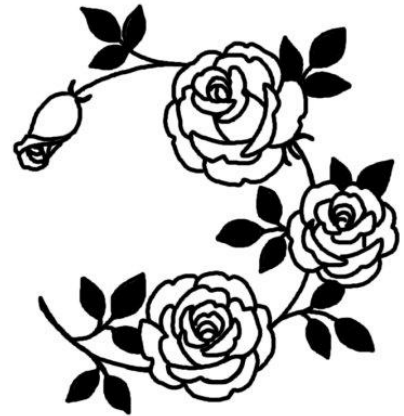
よたろう談話室	2
事務所から、スタッフからのお知らせ	5
ちいさなたび	9
覆面ライター ^{けもの} 獣 のおススメ本。	15
活動報告	16
つっちーのつぶやき	18

なお、点字版とはページ数が異なります。

よたろう談話室

「熱中時代」

つえの里 理事長 しばたよしあき 柴田義秋



今日は第 1 火曜日、近所の J A の駐車場で軽トラ市が開催される日だ。今年は開催日に雨が多く、自転車で行く私は訪問を断念したことが何回もあった。快晴の今日はそんな心配はない。昨夜は熱帯夜だったためか朝 8 時半なのに熱風が吹いている。先週の雨で持って行けなかったプラごみもあるので、前後のかごに袋を積んで集積所まで持って行ってから J A に向かう。

軽トラ市は軽トラックの荷台で荷物を広げている人と、台の上に並べている人たちなどがいる。最初は豆腐屋さんから買い物が始まる。ここでの目的は一口大でサイコロ状の厚揚げ。私は焼いて食べるのが好きだ。西町の産直や、t - F A C E でも売っていることがある。厚揚げを三袋と 5 0 円のおからを買ってちょうど 5 0 0 円也。

あとは農家さんの野菜を順番に物色する。下山のほうから持ってこられた一袋 1 0 0 円のキュウリを一袋、ナスを三袋買う。串カツやシフォンケーキもあるが今日はパスし

た。まだ荷出し中の漬物屋さんは後回しにして、私の患者さんの軽トラに先に行く。「黄色いミニトマトはよく売れ残っちゃうんだよね」と言ったので残り二袋を買う。ついでに取れすぎたという細めのキュウリとモロッコインゲンも買う。漬物屋さんに戻り、今日は何があるのと聞くと「キュウリのさっぱり漬け」と「玉ねぎの酢漬け」があるという。それぞれ味見をする。さらに、切っていない「かりもりの味噌漬け」がある。早く売ってその場所でかりもりの粕漬けが作りたいからこっちは100円、自分で切ってねとのお達しだったので二つ買うことにした。この人はナス農家で美味しいナスを売っている。今日は米ナスの倍ほどの長さの大きなナスを二つ100円で売っていた。味見をしたものと合わせて1100円のところ、ちょうど千円に負けてくれた。

前回美味しいトウモロコシを買ったお姉さんはお休みだった。この人は冬にはブロッコリーやカリフラワーを持ってきた。お高いけど美味しいのでつい買ってしまいうようになった。もう一度トウモロコシを買いたいと思ったのだが。

帰りにまた豆腐屋さんの前を通るとこんにゃくが二つ残っているだけだった。「今日は早く売れちゃったね」と声を掛ける。こんにゃくを見て「このこんにゃくは生で食べられるの」と聞くと、作った日なら大丈夫とは言ったがそこ

にあるものがないとは言わなかった。刺身で食べられるこんにゃくは売っていないのと聞くと、その店ではないらしい。「固まりの作りたてのこんにゃくが食いたい」と言うと小坂の辺にあるかもしれないと言っていた。あれは美味しいよね。

ほとんどの店が顔見知りになってしまったので、うだうだしているうちに30分ほど経ってしまった。なんだかふわふわするような気がしたので急いで家に帰る。しばし冷房に当たり元気になった。涼んでいるうちに軽トラ市の人たちが心配になってきた。ふと、この間もらった塩分タブレットがあることを思い出し、また自転車に乗ってJ Aへ。みんなにタブレットを配って帰ってきた。

暑い日が続きますので、そういうときの外出は利用者さんもヘルパーさんもお互いに観察しながら行ってください。

急に、ぼーっとする。

なんだかフラフラする、している。

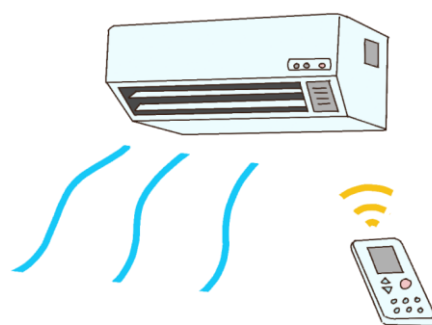
吐き気がする。しゃがみ込む。

ろれつが回らなくなった。

こんな状態になった場合にはすぐにお互いに声を掛けてください。医療機関では名前を尋ねられたり今日の日付を尋ねられたりします。また、すぐにつえの里への連絡もお願いします。つえの里では利用者さんやヘルパーさんの熱中症予防のため皆さんにいろいろとお願いをしています。

活動の制限やご不便をおかけする場合がありますかもしれませんがご協力をいただきますようお願いいたします。

私は、中学生のころ、夏休みのソフトボール大会の途中で3試合連投してフラフラになり、冷房の効いた車に避難して事なきを得た経験があります。外出先だけでなく自宅でも適切に冷房を使用して健康にお過ごしください。



事務所から

梅雨明けが早く、暑い日が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

私の、最近のほっこりとした出来事をお知らせできたらと思います。我が家には月下美人という、一夜だけ満開になり咲き終わる、そんな花の植木鉢があります。6月の初旬、一輪だけつぼみを付けたので、私の両親は毎日楽しみに観察していました。一週間くらい経った頃、夕方からつぼみが開き始めて、一時間ごとに花の観察。数時間で満開になって白い花を咲かせました。花の様子を見ては写真を撮り、喜びの声が我が家に響き

ました。満開になると手のひらを広げたくらいの大きさになりましたが、朝にはすっかり咲き終わりしおれていました。これぞ一夜咲きだな、と感じました。家族で珍しい花を見ることができて良かったです。

さて、つえの里も新年度になりました。7月20日には、つえの里の総会が開催され会員の皆様の多数のご出席を賜り感謝しております。^{たまわ}

新年度も事故のない安全な活動ができるように願っています。わからないことも多く、頼らせていただくことが多いですが、皆様の手助けをいただきなんとか運営できております。今後ともよろしく願いいたします。 管理者 ^{かみむら} 上村 理恵

スタッフからのお知らせ

・令和7年6月から「労働安全衛生規則」が改正され、1時間以上の労働に対し「熱中症予防対策の充実と発生時の処置の手順作成」、「報告体制等の整備」や「関係者への周知」が事業所に義務付けされました。

そのため、つえの里では昨年に引き続き熱中症対策を徹底するため、体力づくりのためのウォーキングなどは室内での活動を推奨したり、冷房を完備した施設

周辺での活動をお願いしています。まだまだ暑い日が続きますが、皆様の健康を最優先し、より安全な活動となるようご協力をお願いします。

・夏季連休は8月13日（水）～15日（金）です。連休中のヘルパー依頼について、活動日の変更をお願いしております。ご協力をお願いいたします。

・6月13日（金）の『新三河タイムス』と『矢作新報』に、音訳ボランティア「銀河の会」さんの記事が掲載されました。

視覚障がいのある人のために書籍や広報とよた等を音訳してくださっている銀河の会さんが結成50周年を迎えられました。音訳講座の受講生で昭和51年に発足され「一人ひとりの力は小さくても小さな星の集まりが明るい光の銀河となる」を合言葉に活動されてきたそうです。平成9年にはボランティア功労者として厚生労働大臣表彰を受けられたとのこと。元NHK朗読者やアナウンサーを講師に招いて講演会を開いたり、名古屋の朗読グループと交流会を行ったりもして研鑽^{けんさん}に励んでいらっしゃるそうです。広報とよたのほかにも、新聞から抜粋した福祉・スポーツ・国内外のトピックス記事などを月1回（約90分）、新聞コ

ラムを週1回（約40分）音訳して郵送やメールで届けてみえるそうです。日頃大変お世話になっている銀河の会さんが取り上げられて、つえの里のスタッフも嬉しいです。機会がありましたら記事をご一読ください。

篠澤特別顧問理事より一言

5月28日の第9回レコードコンサートにお越しくさ
いましてありがとうございました。次回は秋頃に計画して
いますので楽しみにしててください。よろしくお願
いします。

併せて熱中症について。肌の保護をすることで熱中症を
避けることができるかもしれないよ。というのは、以前に
巻頭言を書いていた私篠澤が、学生時代の最後の年度で、
夏休みの出校日の後で家に帰り、夕食後にお風呂に入ると
左腕の肘^{ひじ}に猛烈な痛みを感じ、ビックリ飛び出て母に見て
もらいました。どうやら肘をやけどしていたようです。「ど
こで焼けずったの」と聞かれたけど覚えていなかった。母
は包帯をしながら「3、4日お風呂には入るなよ」と言
いました。以後、私は9月になって学校が始まってから今ま
で、夏にも長袖を着ています。皆様が暑い暑いと悲鳴をあ
げても自分はそんなに暑さを感じていません。なので、
皆様も参考にしてください。

ちいさなたび



なんやにしき
南谷 錦

今回のちいさなたびは天候の良い日を選び、以前行けなかった弥富市の歴史民俗資料館に行ってまいりました。ご^{いんきょ}隠居様（篠澤特別顧問理事）とヘルパー南谷でいざ出発。

名鉄電車の三河線に乗り知立から名鉄本線に乗り^{す か ぐち}換え須ヶ口で再度、津島線・^{び さい}尾西線に乗り換え約1時間50分で弥富駅です。ここから徒歩15分程で歴史民俗資料館となります。いつもながら道中では、楽しく色々なことを話しながら移動します。弥富駅はバリアフリーではなくエレベーター也没有。ひたす

ら長い階段を上ったり下ったり、ご隠居様の足元を気遣いながら移動をします。

弥富市のことを下調べしてみました。ウィキペディアより引用では、2006年(平成18年)4月1日、海部郡弥富町が十四山村を編入合併して市制施行し、愛知県35番目の市として誕生したそうです。地名の由来は、彌(弥) 富は「いよいよ富む、いやがおうにも富む」ことを願って命名された瑞^{ずいしょうちめい}祥地名だそうです。

弥富金魚^{やとみぎんぎょ}と白文鳥^{はくぶんちょう}の産地で、日本にいる金魚の全品種である約26種類がすべてそろう一大産地です。今からお邪魔する歴史民俗資料館には約20種類の金魚が水槽で展示されていて、しかもロビーでは白文鳥のぶんちゃんと桜文鳥のさくらちゃんに会えるそうです。

二人で、ナビを確認しながら16分徒歩にて到着しました。玄関でまず目に入ったものは、右斜めにY A T O M I ・ A Q U A と書かれた看板と大きな水槽の中に優雅に泳いでいる金魚たちでした。ご隠居様に、名札に書いてある金魚の名前、大きさや特徴を話します。

触れると良いのですが・・・手のひらや体を使って水槽や金魚の大きさを伝え、色を金の延べ棒やお地蔵様の前掛けなどで表現し、頭の中で想像していただきました。

弥富市のグッズ（Tシャツなど）を、売っている受付前を通り、弥富市の水郷時代すいごうの展示物品について話をしました。ご隠居様も使っていたことなどを楽しく聴かせてもらい、移動しながら弥富の過去の説明パネルを見ます。弥富市は海拔ゼロメートル地帯が大きく広がり、市域の地面は海水面より最大で2メートルほど低くなっている所もあるそうです。

悲しい物語が書いてありました。戦国時代や長島一向一揆で壊滅したこと、江戸時代に苦勞かんたくされた干拓しんでん新田のこと、昭和の伊勢湾台風のことなど。でもそれに負けずに頑張って開発をして今に至るそうです。

次は、たくさんある水槽の金魚を説明していきます。ランチュウ、コメットや和金わきんなど、とても綺麗で凄いです。慣れているのか、僕たちが傍そばに寄ると向こうから近付いて来て愛嬌を振りまいてくれます。

次は白文鳥のぶんちゃんと桜文鳥のさくらちゃんに会いに行きます。お昼時なので係員さんがいないため、触ることができませんが、2羽とも手乗りです。ここも向こうから近付いて来て、とても可愛いですよ。

あらかた見学をして、遅いお昼を食べに行きます。おそば・うどん・ラーメンなど、ご隠居様と話をしながら決めます。一〇ラーメンか仲〇しラーメンのどちらかとなり、仲〇しラーメンとなりました。

今日も何事もなく帰って来られたことを感謝してペンを置きます。ありがとうございました。

昭和34年(1959年)9月26日、この地方を台風15号が襲いました。後に伊勢湾台風と呼ばれたこの台風により全国で5,000人以上、弥富市(当時は弥富町と十四山村)では358人が亡くなりました。被災水位は海拔3.9mにも及び1,000戸以上が全壊・流失しました。

中でも鍋田干拓では入植したばかりの若い世代を中心に、入植者165世帯318人のうち、実に4割以上にあたる133人が犠牲となりました。鍋田干拓は戦後の食糧増産・失業対策を目的に行われた国営事業で、昭和30年に第一次入植者を迎え34年には米の収穫もいづらか見込まれていた、そんな矢先の大災害でした。鍋田干拓の海岸堤防は、総延長5,032メートルのうち4,461メートル(88.7%)が全壊しました。

海岸や河川の堤防が各地で決壊し、繰り返される激しい潮流のため復旧工事は困難を極めました。そのため弥富市域ではほぼ全域が50日以上、鍋田干拓では4か月以上という記録的な湛水期間となったのです。



鍋田干拓の復興住宅





ふくめん

けもの

覆面ライター獣のおススメ本。

点字が誕生して今年で200年！　今回は点字と視覚障がい者がキーワードのお話です。

しもむらあつし

下村敦史「闇に香る嘘」(点字図書あり)

かずひさ

のぞ

和久は、孫娘の腎臓病治療のため移植に臨むが、数値が悪くて移植できなかった。兄の竜彦に移植を頼むが拒否され、その頑なさに疑念がわく。

和久は幼少期を満州で過ごし、敗戦時に竜彦と生き別れていた。

戦後、食糧難による栄養不足が原因で失明した和久は、中国残留孤児として帰国した竜彦の姿がわからなかった。母が竜彦だと確信したこともあり信じていたのだが、まさか偽者？

そんなとき、「本物の兄」と名乗る人物からの電話や不気味な点字俳句が届き、猜疑心は最高潮に！

視覚障がい者ならではの視点と、家族との関係修復を願う和久の奔走が描かれる物語。

活動報告（令和7年 5・6月）

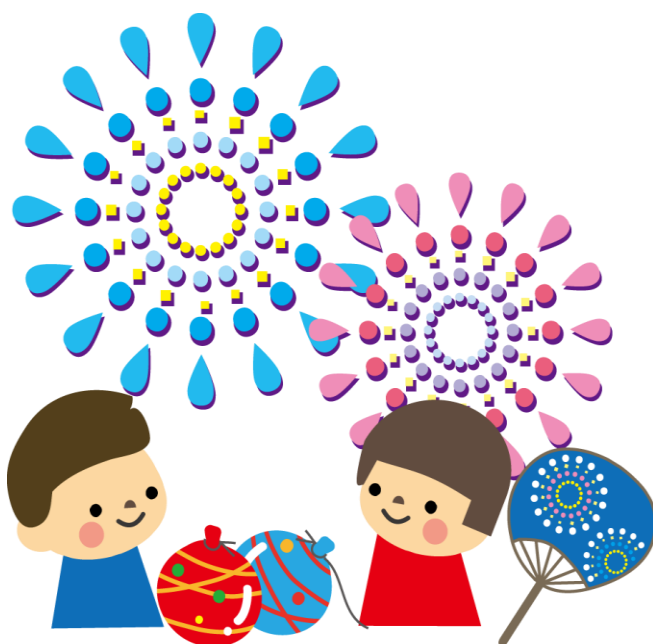
5月

- 2日（金） ・ サービス調整会議（介護保険）
- 7日（水） ・ 豊田市地域自立支援協議会
中部ブロック会議
- 20日（火） ・ 西山自治区災害時連携会議
- 23日（金） ・ サービス調整会議（介護保険）
・ 豊田市地域自立支援協議会
西部ブロック会議

6月

- 4日（水） ・ 豊田市地域自立支援協議会
中部ブロック会議
- ・ サービス調整会議（介護保険）
- 10日（火） ・ あいづまるごと会議
- 12日（木） ・ 豊田市地域自立支援協議会
こどもPT会議

- 1 7 日（火） ・ 豊田市地域自立支援協議会
中部ブロック会議
- 2 5 日（水） ・ サービス調整会議（介護保険）
- 2 6 日（木） ・ 西山自治区 災害時の連携会議
- 2 7 日（金） ・ 豊田市地域自立支援協議会
西部ブロック会議
・ 豊田市地域自立支援協議会
サポート連絡会
- 3 0 日（月） ・ 放課後等デイサービス
事業所連絡会



つっちーのつぶやき

今回のつぶやきは、少し長くなります。

家族と名古屋へ出かけたついでに、6月1日の「第20回名古屋ライトハウス用具展」をほんの少しだけ見てきました。

ダイハツ工業の白杖歩行安全支援機器「スマートウォーク」は、まだ試作開発中だそうです。首にはめるネッククーラーのような形で、人・自転車・バイク・車・トラック・電柱・工事コーン・車止め・誘導ブロック・警告ブロックを音声でお知らせしてくれるそうです。現在重さが400gで、少し重みを感じるとの感想をもらったそうで、軽量化に取り組んでいる最中だそうです。

靴下マリモという会社の「触って色がわかる靴下みちる」は、靴下の色を表すアルファベットの短縮形（ネイビーならN V Y、ブラックならB L K、ダークグレーならD G Y、ライトグレーならL G Y、ホワイトならW H T。）と、外字符なしの点字も浮き出っていて、間違えずに左右の色合わせができるとのことでした。

使うときに少しコツが必要なのですが、読む方と同じ向きで打つことができる凸面点字器「トツテンくん」もありました。

あまり時間がなく一部しか見ることはできませんでしたが、色んな企業・色んな方々がアイデアを出し合って便利なものを試行錯誤して作ってみえるのだな、と感動しました。

つっちーこと土屋

【 正誤表 】

つえの里だより第125号「覆面ライター獣のおススメ本。」の14ページの本のタイトルのふりがなに誤りがございましたので、下記の通り訂正いたします。

誤・・・くろろうじょう

正・・・こくろうじょう

皆様に深くお詫び申し上げます。

発行 : 特定非営利活動法人

視覚障害者センターつえの里

〒471-0068

豊田市横山町4-3-2

電 話 0565-31-3381

F A X 0565-31-3473

e-mail tue-sato@hm5.aitai.ne.jp

.....

相談支援

電 話 0565-98-0070

e-mail tue-soudan@hm.aitai.ne.jp